

# 学校じまん こと な 事 あ ん な 所 第14回 まとめ

緑区東部にある小学校 13 校を紹介してきましたが、取材に携わったサポーターなど 12 名で座談会を開き、これまでの誌面を振り返りました。ユメリアニュース編集員が気づいたこと、心に残ったことなどをまとめました。



## ◆地域の発展とともに

現在の鳴海東部小学校は、平成 30 年で創立から 145 年になる一番歴史の長い学校です。二番目の小学校は昭和 37 年に開校しました。この間 89 年の歳月が流れました。区内で一番新しい小学校は平成 20 年の開校で、二番目の小学校開校から 46 年後のことです。この 46 年の間に 12 の小学校が次々と開校しました。緑区東部地域の急速な発展を如実に物語っています。



気づいたことや思い出を語り合う様子

## ◆地域との結びつきを大切に

どの学校も地域との結びつきを大切にし、登下校時の見守り、花壇の世話、おはなし会などが地域の方々の協力を得て行われていました。また、交通量の多い道路がある学区では特別な安全対策がとられているなど、子どもたちは地域全体で見守られていることが伝わってきました。

また、地域の特質・特色に目を向けた取り組みとして、特産品の紹介・展示や、遺跡のある学区では歴史的遺物の展示コーナーがあるなど、地域のことをよりよく知る機会が子どもたちに提供されていました。

## ◆「小学校紹介」シリーズを終えるに際して

学校訪問の際は、ご丁寧に対応していただき、ありがとうございました。また、テーマ「学校じまん」に対し、いろいろな「じまん」を用意していただきました。誌面の関係上、ほんの一部しか掲載できなかったのが残念ですが、子どもたちや地域の方々がこの記事を読んで改めて地域の良さを再発見していただけたら嬉しく思います。

誌面作りに関して、「わかりやすい文章を書くように」「マンネリにならないように」「各学校のカラーが出るような記事にするように」などの反省がありました。今後の活動に活かしていきたいと思っています。

「学校じまん」で取材した緑区東部の 13 小学校の校章（開校順、緑区誌より引用）



## 綿（ワタ） ～光の庭～

綿は、オクラと同じアオイ科の植物です。花が咲き、実を結び、綿になります。

日本へは、奈良時代に崑崙（こんろん）から種が伝えられたといわれています。最初の頃は、栽培が難しく僧侶など位の高い者しか使えない布地でしたが、江戸時代の中頃には、栽培が普及し、庶民の着物は、木綿があたりまえになるくらいまでになりました。今では珍しい植物ですが、光の庭にはありますので、ご覧下さい。

